





### 年に一回は健康診断を受けましょう

土建国保に加入されている方は、本人も家族も無料で受診することができます。

清瀬久留米支部では毎年春、日曜日を利用した大規模な集団健康診断を実施しており、500人を超える仲間が利用しています。只今、申し込みを受け付け中です。詳細は支部事務所へお問い合わせ下さい。

#### 《日曜健康診断日程》

- ① 5月28日 (日)  
東久留米わくわく健康プラザ体育館  
申込締切 5月19日
- ② 6月18日 (日)  
清瀬小学校体育館  
申込締切 6月9日



## 日曜健康診断

今年もやります！

### PALの仲間も参加

先日、大手企業交渉が行われました。詳細は6月号で報告をします。大手のゼネコン、ハウスメーカーに待遇改善を申し入れる際に、仲間の皆さんの従事先の生の情報が非常に重要になります。今年も日曜健康診断の会場でアンケートを取ります。可能な範囲で構いませんので、ご協力をお願いします。受付前でお待ちしています！



賃金対策部長 荒牧孝好



抜群のパフォーマンスで通行人の多い新宿駅前を賑わすエキタスの若者達

# 声を上げ続けよう

日本で、最低賃金の一番高いのが東京の932円。フルタイムで20日働いても、15万円弱にしかならない。エキタス(AEQUITAS)という名の若者たちの集まりがある。彼らは、格差と貧困の是正。最低賃金1500円

## 仲間づくり運動 ターゲットは足で探す

4月9日(日) 松竹分会の組合員訪問&学習会が開催されました。午前中の組合員訪問では、本田書記と

共々4人の仲間で行った。人の訪問を行い、仲間づくり運動の訴えをしました。午後の学習会では、本田書記が講師を務め9人の参加。テキストに習い講義が行われました。参加者とい



グン。新宿の繁華街を進行し、注目されたが、出発し、陸橋の下には多くのダンボール生活者の姿がありました。石原元知事が、「格差、貧困なんて言っていない。声を上げ続けよう。」



みんなで楽しく交流して運動への活力に！

最後の交流会では、良い意見が出ます。仲間づくり運動では、ただ闇雲にチラシや広告を配るのではなく、ターゲットを絞って行うようにした方が良いという意見。ターゲット探しは非常に

## 社会保険未加入対策で

### 見えてくるもの

2017年4月は、建設業界が大きな変化をむかえました。「未来ある、明るい建設業界をつくっていく為に、他産業並みに社会保険加入率を引き上げ、若者が入職しやすい産業にする」

口に寄せられる相談は、決して明るく未来ある内容ではありません。設計労務単価が上昇し、法定福利費の支払いが、元請大企業に要請されています。徹底されていけば、仲間の状況は上向きのはずです。しかし実態はどうでしょうか。単価は従来のまま、

現場労働者を全員社会保険加入させなければ、新規の契約ができない。法定福利費を請求しても適正に支払われない。無理な法人化を迫られる。下請け、中小業者いじめと、労働者の賃金が保障されない状況は、改善されるどころか、悪化しているよ

うに感じます。こんな状況は、一刻も早く終わらせなくてはなりません。組合に仲間の多くの「怒りの声」、そして情報を集めましょう。ご自身の声、仲間の声、家族の声を、大手企業交渉、国交省交渉でぶつけていきます。数の力を今こそ発揮し、「本場の明るい建設産業」を仲間の力でつくって行かなくてはなりません。

書記局 砂川恵



## 湧水

### あれから28年



主人の命日が来ます、5月19日です。40歳の若さである日突然、くも膜下出血で、私と子供3人を残して旅立ってしまったのです。父親がいなくなったのは、次男が中学1年の時でした。俺、高校に行かずお父さ

んの跡を継ぐと言ってくれました。嬉しかったです。高校ぐらいは行きなさいと言ったのですが、今では仕事も組合も両立させて、忙しくやっています。やつと一人前になったと感じます。たくさん苦労をさせたけど、弘士、ありがとう。これからもうよろしくね。清里分会 徳武幸江